

UNIVERSITY OF WESTMINSTER 用



こんにちは！創価大学43期経済学部経済学科の利倉心之助です。
今回はこの場をお借りして、私のロンドン・ウェストミンスター大学での留學生活について紹介させていただきます！
(留學期間 2015年5月20日～2016年3月20日)



寮は、ロンドン・ビクトリア駅から歩いてすぐの、ウィグラムハウスという場所になります。主に大学院生が暮らしている寮ですが、夏休みの時期には旅行者などにも部屋を貸しており、様々な世代や国籍の人と交流することができます。様々な人が様々な英語をしゃべっているの、時に苦勞することもあります。とても楽しく、良い経験になっています。ロンドンのど真ん中という立地だけあって、ビッグベンやバッキンガム宮殿まで徒歩10分でアクセスできるという素晴らしい場所に住んでいます。休日はハイパークでサイクリングなども！



今回の留學は、ICC 国際交流委員会<(株) テンプ総合研究所>の主催するIBP グローバル留學奨学金に挑戦し、IBP プログラムウェストミンスターコースに合格したことで実現しました。奨学生区分は全体の12名が選ばれる準特待生で、現地での学費が免除されます。また、日本の文部科学省と民間企業が協同して行っている「トビタテ！留學 JAPAN 日本代表プログラム」にも選抜され、留學を開始することができました。このように多くの方々の支援によって留學をすることができることに、本当に感謝でいっぱいです。

留學の第一タームでは、9月からの学部授業に備えたアカデミックイングリッシュと、翌1月から始まるインターンシップのためのビジネススキルを学びました。アカデミックイングリッシュの授業では、GCP の英語授業で学んだことと被る点は多かったものの、それを生かして、授業の中で積極的に議論を起こすことができました。ビジネススキルではCV やカバーレターの書き方、電話の取り方など、実践的なスキルを学ぶ良い機会となりました。

学部での9月からの授業は、日本でも学んでいた経済学の授業を中心に、開発学の授業にも挑戦しようと考えています。1月からのインターンシップでは、JETRO などの企業活動の支援を行う場所か、NGO などの国際協力をする場所で働いてみたいと考えています。



ウェストミンスター大学 University of Westminster

ウェストミンスター大学は英国の国立大学で、その前身は1838年まで遡ります。英国の中でもトップクラスの留學生受入数を誇り、學生が就業力を大きく伸ばすことのできるワークプレイスメントも、この大学の強みの一つとなっています。また、文化、メディア、外交政策学など、多くの分野で高く評価されている大学でもあります。

英国・ロンドン

ロンドンは、言わずとも知れた英国の首都で、文化、芸術、ファッション、金融など、あらゆる面で世界をリードする大都市です。東京のようにビル群がひしめいているわけではなく、セントラルの中にもハイパークやテムズ川など、自然を感じられる場所がたくさんあります。さらに多くの美術館は入館料が無料であり、ゴッホやモネなどの世界一流の作品を昼休みにふらっと見に行ってしまうという素晴らしい場所でもあります。また、世界で最も観光客の多い都市でもあり、街を歩けば様々な肌の色の人々、様々な言語が飛び交っています。その意味でロンドンはイギリスらしくない場所、とも言えるかもしれません。

大都市に点在するキャンパス

ウェストミンスター大学のキャンパスはロンドンの中心に3つ、そしてそこから少し離れた場所に1つあります。セントラルロンドンのキャンパスはそれぞれの距離が近く、創大の校舎を移動する感覚で、ロンドンの街中を歩くことができます！いくつかの校舎にはジムも用意されており、勉強のみならず運動にも励むことができます。

